

37

條約局 昭和四年二月四日

臺灣總督官房文書課長代理 平島敏夫

昭和四年貳月拾陸日接受

別紙添附

外務次官吉田茂殿

文外第一二九號

在臺灣佛國軍人墓地移管式舉行ノ爲佛國大使及同極東艦隊司令官來臺ノ記送附ノ件

基隆波馬込所在佛國軍人墓地移管式舉行ノ爲ノ爲ニ來臺セル佛國大使並同極東艦隊司令官一行ノ本島滞在中ノ概況ヲ記シタル別冊複寫刷附屬書ト共ニ御參考迄ニ茲ニ及送付候也

118.1231

基隆名バノ濱及澎湖島ニ於テ佛蘭西軍人
墓地移管式挙行ノ為メ佛國大使ドビ
及佛國極東艦隊司令官ストツツ提督巡洋
艦ヨシユ、ミシエ「」ニ塔乗来直屋ノ記

昭和三年十二月二十八日(金曜日)

「トビイール」基隆入港

「トビイール」大使及ストッツ提督ノ搭乗セル
「トビイール」ハ午前九時基隆入港新
岸登ニ假泊ス

九時半平島秘書官ハ總督代理トシテ
今村副官ハ軍司令官代理トシテ中村海
軍駐在武官、森翻譯官、松本外務事務
官ト共ニ同艦ニ大使及提督ヲ訪問シ
同時ニ基隆側ヨリハ基隆要塞司令
官代理トシテ高名要塞司令部參謀
加藤市尹、梅田港務官、織本基隆
警察署長、在基隆直陸海日々新

報社、各講新聞社、臺南新報社各
通信員等夫々同艦ヲ訪問ス、トビイール
大使及ストッツ提督ハ幕僚各將校
艦長、副長等ト共ニ一同ヲ應接室ニ
招シ、三鞭ノ杯ヲ奉ケテ出迎ヲ謝シ相互
ノ健康ヲ祝ス

次「トビイール」大使、ストッツ提督幕
僚各士官列席上、督府官憲ト叙禮
交換、移管式々次、翌日觀光及島
内旅行其他碇泊中ノ諸行動ニ関シ
詳細打合ノ結果附屬書A號ノ通り
日程ヲ定メ平島秘書官其他ハ午後一
時同艦ヲ辞去ス

大使、提督及随員並ニ「シユルミシエ」乗組
 組將校氏名左ノ通り
 駐日佛國大使 ロベルド、ビイー
 大使館附海軍武官(軍佐) ロサチ
 大使館外交官補 シア、バーレン

極東艦隊司令官(少將) ストツツ

參謀長(中佐) シヨム、ラモット

軍醫中佐 カゾ、ヌーヴ

主計少佐 ホ、リ

機関少佐 カスタニエ

少佐 ルシユイトン

大尉 セー、ル

大尉 ド、バダシス

中尉 テル、グトロー

中尉 コシヤ

「シユルミシエ」乗組
 艦長(大佐) ド、ヴァン

中佐 フル、

少佐 シユラント

大尉 アマン、リニ

「シユルミシエ」乗組
 大尉 ド、ア、ニオン

「シユルミシエ」乗組
 大尉 ル、コント

「シユルミシエ」乗組
 大尉 フ、ア、ルト

「シユルミシエ」乗組
 大尉 カ、ス、タン

「シユルミシエ」乗組
 大尉 バ、ー、ユ

機関大尉

2

| | | |
|------|-----|-----|
| 少尉 | ラムー | ル |
| 少尉 | レグ | オール |
| 少尉 | マリ | ヨ |
| 少尉 | ミ | ノ |
| 少尉 | ヤ | グ |
| 少尉 | エ | ロ |
| 少尉 | シ | ン |
| 主計中尉 | ロ | ラ |
| 機関中尉 | ル | サ |
| 軍醫中尉 | ハ | ド |
| 中尉 | ク | ニ |
| 中尉 | ア | バ |
| 中尉 | ラ | ツ |
| 中尉 | グ | エ |
| 中尉 | セ | ル |
| 中尉 | ル | ツ |

3

計二十七名
(佛元原名附属B類表ノ通)

其日ストツツ提督外ニ名ハ午後市役所
及要港司令官ノ廻ヲ簽訪シ歸途加藤市尹
及松本外務事務官ト墓地式場下檢分ヲ為ス

十二月二十九日(千禧日)

大使及提督、總督、軍司令官ヲ正式訪問
ド・ビノト大使、ストツツ提督、參謀長、
副官、艦長、大使館附海軍武官、外
交官補ハ九時十四分名此駛著、駛頭
出迎、河原田總務長官、大久保總務
局長、常中支專賣局長、高橋名此、